

《担当者名》○ 歯学部准教授 / 廣瀬 由紀人 歯科技工部歯科技工士長 / 石井 友和

【概要】

近年歯科医療技術の高度化にともない、歯科技工業務においても極めて高度且つ複雑なものとなっている。また、急速な高齢化社会の対応・対策が急がれている現在、歯科技工物の需要性も急増することが明確です。そこで、本実習において技工業務および必要な技工操作・知識等の要点を理解する。

【学修目標】

技工室見学実習において到達目標は、まず歯科技工物に対する正確な知識および技工操作など、実際に見学または実習することにより理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	作業用模型の製作について 全部床義歯・部分床義歯の製作について 歯冠補綴・架橋義歯の製作について インプラント上部構造の製作について 研磨の手順について 機器・器具・材料の名称と取り扱いについて	- 技工物を製作するには、ほとんどが間接法という患者の口腔内に代わる作業用模型上で行ないます。それらの製作手順について理解する。 - 義歯を製作するには、模型製作から始まり咬合床製作・咬合器装着・人工歯排列・歯肉形成・埋没・重合・削合・研磨などの技工操作手順について理解する。 - 鑄造体の原型となるワックスパターンの製作・スプルー線植立・埋没・鑄造等の補綴物が完成するまでの技工操作過程について理解する。 - インプラントの構造は、おもに人工歯根（フィクスチャー）・支台（アバットメント）・上部構造体の3つから構成されている。技工製作における、模型製作から、支台・上部構造体が完成するまでの技工操作過程について理解する。 - 補綴物は、十分に研磨し滑沢な表面に仕上げ、半永久的に装着されなければならない。研磨の手順について理解する。 - 研磨の要点・ポイントの順番 荒いものから、細かい目のものへと行なう。 カーボランダムポイント→サンドペーパーまたはシリコンポイント→硬毛ブラシ（研磨材を用いて）→シャモイズホイール（鹿皮） - 技工操作過程に必要な材料および機器・器具について理解をする。	廣瀬 由紀人 石井 友和

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習内容を総合的に評価する。

【教科書】

「歯科補綴」医歯薬出版

【参考書】

「最新デンタルラボラトリー」 Hans - Uwe L. Kohler 著 玉置敏夫監訳
カラーアトラスハンドブック「クラウンブリッジ臨床ヒント集」 石橋寛二 佐藤博信 越智守生編 クイントエッセンス出版株式会社

【学修の準備】

実習内容を理解したうえで毎回の実習に臨むこと。